


施設名	久賀の新波止								
所在地	山口県 周防大島町								
管理者等									
施設種類・分野	港								
施設概要 (明治期との関連含む)	古波止は市街地から遠く離れた場所で、道らしい道もなく不便で、築港は地域の課題でした。折しも四境の役で焼失した覚法寺の本堂再建の話が持ち上がった時、住職大洲鉄然は築港が先と提言します。こうして鉄然と村民有志により明治13年(1880)、東側に長さ120間、西側に高さ2丈7尺、長さ24間の新波止が完成しました。岸壁には敷石が敷設され、開設された港にあちこちから船が集まり、運送とあわせて商業も栄えていきました。(文献2より抜粋)								
									
	出典: 中国建設弘済会HP								
築造時期	明治初期				時期詳細	明治13年			
関連人物	住職 大洲鉄然								
関連企業	-								
トピックス (特徴的エピソード)	石垣は大きな石の間に小さい石をはさみながら積み上げていくのが一般的で、波などには弱く、海岸にはほとんど見られませんでした。ところが、入浜製塩が盛んになった頃からほぼ一定の大きさの石を斜めにかまさせながら積み上げていく「亀の甲積」が潮留の石垣を中心に行われるようになりました。元禄の頃からこの技術を身に着けたものと思われます。加えて、波に強くしぶきの上がるのを少なくするソリをつけるという特色があります。(文献2より抜粋)								
歴史的な遺産等の指定の有無等	-	選奨土木遺産 (土木学会)	-	文化財 (文化庁)	-	近代化産業遺産 (経産省)	-	世界遺産 (ユネスコ)	-
その他 (関連資料、文献)	文献1: 土木学会 日本の近代土木遺産(改訂版) 文献2: 中国建設弘済会アーカイブス ( <a href="http://www.ccba.or.jp/archives/pdf/75.kuka.pdf">http://www.ccba.or.jp/archives/pdf/75.kuka.pdf</a> )								
管理者等のHP (URL等)	建設技術センター情報41 <a href="http://www.yama-ctc.or.jp/johoshi/johoshi.img/41.pdf#search='%E4%B9%85%E8%B3%80%E3%81%AE%E6%96%B0%E6%B3%A2%E6%AD%A2'">http://www.yama-ctc.or.jp/johoshi/johoshi.img/41.pdf#search='%E4%B9%85%E8%B3%80%E3%81%AE%E6%96%B0%E6%B3%A2%E6%AD%A2'</a>								